

VIVID LETTER

「ヴィヴィレター」

第2号

4月から新宿区協働事業が始まります	1
ミニデイサービスを実施しました	2
VIVID 事業カレンダー	3
理事コラム ■ 源甲斐 照美	3
居場所作り事業のご案内	4

特定非営利活動法人 VIVID (ヴィヴィ)
 東京都新宿区歌舞伎町 2-19-13 ASK ビル 601
 TEL&FAX 03-5849-4831
 Eメール hbd-vivid@coast.ocn.ne.jp
 HP <http://www.geocities.jp/npovivid/>

“VIVID”は高次脳機能障害者の社会参加を支援する特定非営利活動法人です。

4月から新宿区協働事業が始まります



平成20年度の新宿区協働事業提案制度の募集にあたり、VIVIDは、高次脳機能障害者の当事者・家族の生活を支援、サポートしていくための事業企画を「高次脳機能障害者支援協働事業」としてまとめ応募しました。

第一次審査（書類審査）、第二次審査（公開プレゼンテーション）の経過を経て採択され、この結果、提案した事業は平成21年度の区の事業として VIVID と区が協働して実施することになりました。

現在、来年度の協働事業実施に向けて新宿区と具体的な事務の流れ、各種書類、書式等の検討をし、協定書締結に向けての準備をしています。

来年度、事業を進めるためには、会員、ボランティア、支援者をはじめ、皆様のご協力が欠かせません。どんなご支援でも助かります。是非ご協力ください。

【 協働事業提案の主な内容 】

VIVID が提案した事業の概要は、以下の通りです。

1 相談事業

当事者、家族の主訴を把握し、総合的な問題解決の方

法と一緒に考え、生活方針を決定するため、身近な相談から専門相談への連携を支援します。

電話による相談受付・面接による専門相談を実施。

2 居場所作り事業（ミニデイサービス）

定期的な居場所の開催により、ピアカウンセリング、外出、生活リハビリ、マイケアプラン作りなど利用者と共に生活スキルアップのプログラムの策定をします。また、医療分野のNPO との連携をします。

年間24回の居場所作り事業を実施。サービス評価のためのケア研究会を年間4回実施。

*ミニデイサービスの詳細のご案内はP4ご参照。

3 研修事業

高次脳機能障害の普及啓発として、広く一般向けセミナーのほか専門職向けスキルアップ研修、ボランティア養成講座などを年間3回実施します。

《 新宿区協働事業制度とは 》

平成18年度から区が取り組んでいる制度。特定非営利活動法人またはボランティア活動団体及び市民活動団体等の営利を目的としない団体（以下「NPO」という）から、新宿区が事業提案を募集し、NPOと区が協働することで、地域課題の解決を図り、暮らしやすい地域社会を実現することを目的としている。

費用は一事業当たり500万円を上限に区が負担。

単年度事業だが、区長が必要と認めれば2年間継続実施が可能。

ミニデイサービスを実施しました



平成20年11月22日(土)、新宿区四谷地域センターにおいて、第1回VIVIDミニデイサービスが試行されました。この企画は4月から提供する新宿区協働事業で、どのような居場所作りをするかを組み立てていくための試みとして3月までに3回実施するミニデイサービスのスタートとなりました。

本人・家族の4組、8名の参加があり、VIVIDスタッフや新宿区障害者福祉課の職員の方々と交えて、「フルーツバスケット」で少し体を動かしたり、クリスマスをお題に「言葉ビンゴゲーム」で頭を捻ったりというプログラムをそこにいる全員20名が一緒にやりました。皆さんの笑顔が見られたので、きっと楽しく過ごせていただけたのだと思います。



第2回目は1月17日(土)に、本人・家族あわせて7名が参加して行われました。昼食は、和食弁当、本格カレー(ナン付)、ハンバーガーの3種類から選び、会話も弾みました。午後はこの日の目玉のプログラム、歌&ギター奏者の「愛香さん」による「音楽セラピー」。南米音楽や沖縄の歌を取り入れて、歌うだけではなく、ギターやマラカスを使って音楽に身を委ねながらリズムをとったり、他に波の音を出す楽器、山羊の爪をつないだ楽器、四角い太鼓、雷のような音を出す楽器・・・というような珍しい楽器を使いながら音楽で癒され、皆でリラックスした時間を送ることが出来ました。

この2回とも参加者による「話し合い」「意見交換」

のプログラムがあり、それぞれが自分の意見や気持ちを表明する場面があるのもVIVIDのミニデイサービスの特徴の一つかと思います。

また、もう一つ、区の職員の方やマスコミの取材の方がいらしてもゲームに参加させられたり、何か言われるのも特徴です。全員参加が基本方針です。

第3回目、3月7日(土)は、東京慈恵医大の橋本圭司先生のアレンジクラブと合同で開催されます(詳細はP3)。4月からは、新宿区協働事業として本格実施、月2回のプログラムとなります。年6回はアレンジクラブと合同の開催となります(詳細はP4)。



参加者の声

□会場に着くまで、大変でした。でも、楽しかったです。

(11.22 ご家族)

□「言葉ビンゴゲーム」はとても面白かったので、家で子どもたちとやってみたい。

(11.22 ご本人)

□和食のお弁当は大きい方を選んだので、心配だったけど、今日は全部食べられて、食欲におどろきました。

(11.22 ご家族)

□初めて触った楽器だけど、一緒に音を出して、気持ちよかった。

(1.17 ご本人)

□(楽器が何で作られているかの問に対して) 小人の靴をいっぱいつけたもの!

(1.17 ご本人)

□何かやってハイおしまい、とならない内容を期待していましたが、これから何か出来そうな気持ちになりました。

(1.17 ご家族)

□歌う事をしばらく忘れていたな~と思った。子どもの頃はいっぱい歌っていたのに。

(1.17 ご本人)

□この太鼓は心臓の鼓動に合わせて叩きます。

(1.17 セラピスト)

VIVID 事業カレンダー

活動実績

9月

- 1日 “VIVID LETTER” 創刊
- 9日 新宿区協働事業提案
公開プレゼンテーション
- 11日 新宿区協働事業提案採択
- 13日 28回 VIVID 企画会議 開催
- 23日 高次脳機能障害者の在宅生活実態
調査（ヒアリング） 実施
「家族の会かつしか」

10月

- 5日 東京高次脳機能障害協議会（TKK）
ボランティア養成講座 参加
- 11日 29回 VIVID 企画会議 開催
- 18日 在宅生活実態調査 実施
「サークルエコー」

11月

- 2日 在宅生活実態調査 実施
「調布ドリーム」
- 13日 東京慈恵医大の橋本圭司先生と来
年度の新宿区協働事業（居場所作り
事業）に関して打ち合せ
- 15日 30回 VIVID 企画会議 開催
- 19日 新宿区協働事業説明会 参加
- 22日 第1回ミニデイサービス 実施
- 23日 第1回事例研究会 開催
これまで実施した在宅生活実態調
査の結果について、桜新町リハビリ
テーションクリニックの長谷川幹
先生をお招きして研究会を開催
- 27日 在宅生活実態調査 実施

12月

- 2日 オブリガード（杉並区地域生活支援
センター）の安宅雪子さんを訪問、
相談業務に関してヒアリング
- 13日 31回 VIVID 企画会議 開催
- 26日 新宿区障害者福祉課との打ち合せ

実施

1月

- 27日 第2回事例研究会 開催
- 6日 NPO 法人日本脳外傷後遺症リハビリ
テーションユニオン宛にオレンジ
クラブプログラムとの連携を依頼
- 10日 32回 VIVID 企画会議 開催
- 17日 第2回ミニデイサービス 実施

これからの予定

2月

- 1日 “VIVID LETTER” 第2号発行
- 4日 新宿区保健所主催のセミナーで
協働事業の説明実施
- 14日 理事会 開催

3月

- 7日 第3回ミニデイサービス
「オレンジクラブ公開講座」 実施

4月

新宿区協働事業スタート

6月

第2回総会（予定）

「オレンジクラブ公開講座」

- 日時 : 3月7日 13:30~17:00
- 場所 : 新宿モノリスビル 28F セミナー室
- 定員 : 70名（当事者、家族、支援者など）
*新宿区民を優先に受け付けます。
- 資料代 : 1,000円
- 内容 : 東京慈恵医大の橋本圭司先生が中心になり、
NPO法人日本脳外傷後遺症リハビリテ
ーション支援ユニオンが実践しているリハビ
リプログラム「オレンジクラブ」を体験しま
す。

参加ご希望の方は、VIVID 事務局までご連絡下さい。
(TEL 03-5849-4831)

理事 コラム

昔「高次脳機能障害」の患者さんを取り巻く環境は、今とは違って、厳しかった。からだの不自由さがなければ、身体障害者手帳の対象ともならず…。

そのような中で、我々日本社会事業大学専門職大学院2期生の有志が集い、会を立ち上げた。その会が VIVID（ヴィヴィ）。

主に社会福祉士が集い、医療職、介護職ではない仲間が、“相談ならやれるかもしれないけれど…”と、当初サービス提供に不安なメンバーもいました。

しかし、その2年後のつい先日、「ミニデイサービス」を開催した。規模は『ミニ』かもしれないが、実施したことに変わりは無い。“やれば出来る”と今の VIVID は語っている。

これからも、我々の前途には多くの困難が待ち受けているだろう。しかし、みんなで、前向きに乗り越えていこう！「VIVID の活動」に、「理念」に共感し、支えてくれている人たちと共に。

(源甲斐 照美)

居場所作り事業（ミニデイサービス）のご案内

2009年4月から、新宿区協働事業の一つとして、居場所作り事業（ミニデイサービス）を定期的で開催します。

この事業は、当事者やご家族の方が人生をあきらめず、自信をもって生活ができる転機となるよう、「支えられる側」から「支える側」になることを目標としています。

プログラムの内容は、ピアカウンセリング、外出、音楽セラピー、マイケアプラン作りなど、参加者のご意見を活かしながら一緒に作っていきます。また、隔月で、医療専門チーム、NPO 法人日本脳外傷後遺症リハビリテーションユニオンによる高次脳機能障害者とその家族へのリハビリプログラム「オレンジクラブ」を実施します。



◆ 開催日時
2009年4月 ~ 2010年3月
第2・4土曜日 11時00分 ~ 15時00分
奇数月の第2土曜日は「オレンジクラブ」
(2010年1月のみ第4土曜日実施)

◆ 場所
「新宿けやき園」コミュニティー・スペース
(新宿区百人町4-5-1)

◆ 対象者
・新宿区在住・在勤の高次脳機能障害者の方、またはVIVID会員の方。
・原則としてご自身、またはご家族の介助で会場にいらっしゃる方。
(*手帳の有無、通院の有無は不問。)

◆ 定員 各回 10名
(「オレンジクラブ」は別途)

◆ 利用料
1名 1,000円(昼食代金含む)

お問い合わせは、VIVID事務局までご連絡下さい。
(TEL 03-5849-4831)

VIVIDからのお願い

VIVIDでは、私たちの活動趣旨に賛同し、会員、賛助会員、寄付者になっていただける方、および、ボランティアとして活動に参加していただける方を募集しています。

会員：年会費 個人5,000円 団体10,000円
賛助会員：年会費 個人5,000円 団体10,000円
寄付者：金額に特に規定はございません

2008年度の状況(12月末現在)は以下の通り
会員：39名
賛助会員：11名
寄付者：9名

ご関心のある方は、VIVID事務局までご連絡下さい
(TEL 03-5849-4831)。

入会申込書をお送りします。

編集後記

■ 「あっち側から見たこっち側」が、1月14日の朝日新聞東京版に、2日後には千葉版にも紹介されました。その後の10日間で380冊あまりのご注文を頂きました。ひっきりなしのお電話から、ご自身やご家族として高次脳機能障害や脳卒中などの経験をされている方や、当事者支援や教育を仕事としている方などのお声を聞きました。高崎陽子さんが自身のリハビリのために書き綴った貴重な経験が、多くの方々に役立っていく怒涛のような力を感じる日々です。著者の自己洞察と自己開示に社会力があるのです。ご購入くださった皆様に心から感謝申し上げます。(い)

■ 私が今まで長く関わっていた高齢者対象の介護保険では、利用者はいわゆる「お客さま」としてのサービスでした。とても大切な事だけれども、それだけではいけないと思います。入院生活や退院後の病院友達との交流を通して、「障害者」仲間はまだお仕着せのサービスを受け取るだけではない、自ら・共に創り、表現・発信できる力のある存在であると認識しました。大学院でピア(仲間)の有効性を学んだこともあり、ミニデイサービスでは、仲間が集うクラブやサロンのような場、共につくり上げていく場としていきたいと考えています。(た)